

つなぐ



<設立状況(R2.4.1) 全41地区中>
 まちづくり協議会 28(30 地区)
 まちづくり協議会準備会 1(1 地区)

Vol. 30



発行：松山市役所 まちづくり推進課 TEL:(089)948-6963 FAX:(089)934-1821

H P : <http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/machizukuri/chiikicomunity/tikudayori.html>

防災福祉マップ

～災害に強くみんなに優しい地区を目指して～



新玉地区まちづくり協議会

非常用持出品 チェックリスト 	貴重品類	避難用具	生活用品	緊急用品	非常食	衣料品	避難 するときは	危険を感じたときは すぐ避難を！	まず近くの 指定緊急避難場所へ	状況がひどく なるとはなれれば 指定緊急避難場所へ	指定緊急避難場所	避難場所(企業)	ガソリンスタンド	避難所
	① 現金・10円玉 ② 現金用紙 コピー ③ 印鑑 ④ 保険証 コピー ⑤ 貴重品 コピー ⑥ ヘルメット・靴下等	⑦ 懐中電灯 ⑧ 携帯ラジオ ⑨ 携帯電話・充電器 ⑩ 乾電池 ⑪ 貴重品 コピー ⑫ ヘルメット・靴下等	⑬ 食料 ⑭ タオル・ハンカチ ⑮ 寝具 ⑯ 洗面用品 ⑰ 洗濯機 ⑱ 掃除機 ⑲ 洗濯機 ⑳ 掃除機	① ライター・マッチ ② 懐中電灯 ③ 携帯ラジオ ④ 携帯電話・充電器 ⑤ 乾電池 ⑥ ヘルメット・靴下等	⑦ 缶詰 ⑧ 脱水菜 ⑨ 脱水果物 ⑩ アメ・チョコレート ⑪ マスク ⑫ 飲料水	⑬ 下着・靴下 ⑭ 防寒・防雨用品 ⑮ 避難用靴 ⑯ 避難用帽子 ⑰ その他								
		① 現金 ② 現金用紙 コピー ③ 印鑑 ④ 保険証 コピー ⑤ 貴重品 コピー ⑥ ヘルメット・靴下等	⑦ 懐中電灯 ⑧ 携帯ラジオ ⑨ 携帯電話・充電器 ⑩ 乾電池 ⑪ 貴重品 コピー ⑫ ヘルメット・靴下等	⑬ 食料 ⑭ タオル・ハンカチ ⑮ 寝具 ⑯ 洗面用品 ⑰ 洗濯機 ⑱ 掃除機 ⑲ 洗濯機 ⑳ 掃除機	① ライター・マッチ ② 懐中電灯 ③ 携帯ラジオ ④ 携帯電話・充電器 ⑤ 乾電池 ⑥ ヘルメット・靴下等	⑦ 缶詰 ⑧ 脱水菜 ⑨ 脱水果物 ⑩ アメ・チョコレート ⑪ マスク ⑫ 飲料水	⑬ 下着・靴下 ⑭ 防寒・防雨用品 ⑮ 避難用靴 ⑯ 避難用帽子 ⑰ その他				指定緊急避難場所 指定			

地図の完成に向けて
最終の話し合いが真
剣に行われていまし
た。



地図には災害時に
必要な持ち物のチ
ェックリストも掲
載されています。✓



新玉地区まちづくり協議会が「災害に強いまち・笑
顔のあふれるまち」を目指すため、「防災福祉マップ」
を作成しました。
初めは防災マップを作成する予定でしたが、会を重
ねるうちに、「災害などが起こった際は防災面だけで
なく、要支援者の方に必要な情報も掲載すると活用し
やすい」という意見があり、防災と福祉の2つの面を
持ったマップの作成に取り掛かりました。
また、話し合いには、まち協の関係者だけではなく、
町内会長や防災士など様々な分野の方にも参加してい
ただき、必要な情報に優先順位をつけて掲載内容を精
査していきました。
このマップは地区内に全戸配布され、安心安全で笑
顔で暮らせるまちづくりに活用されます。



まち協設立地区紹介コーナー



好評連載中！

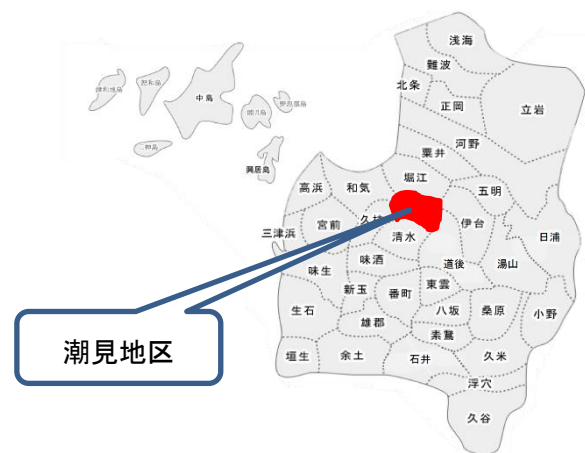


潮見地区まちづくり協議会

面積：6.73km²
 人口：10,155人
 世帯数：4,381世帯
 ※R2.3.1現在

潮見地区は、寺社仏閣や史跡などが多く、数々の伝説や民話が伝承されています。また、吉藤川と大川が流れ、近年は水質も改善されたため、シーズンには幻想的なホタルの舞を見ることができます。

松山北条バイパスの開通で、北条地区や今治市へのアクセスもスムーズです。



地区の見どころ



◎三島神社

2月下旬に満開を迎える桜があり、多くの花見客が訪れます。花は淡紅色で形はソメイヨシノと似ていますが、花柱は無毛で山桜の特徴があるため、山桜と寒緋桜の交雑種と言われています。



◎七曲り跡の地蔵

戦前からお遍路さんの道しるべとして親しまれ、戦後に行方不明になったお地蔵さんが太山寺で見つかりました。現在は、江戸時代に加藤嘉明公が造った「七曲り街道」の跡地に設置されています。



【三島神社の桜】



【七曲り跡の地蔵】

活動内容の一例

◎地域の宝再発見プロジェクト

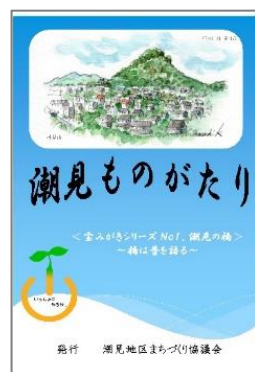
地区内の橋や野鳥など、身近にある魅力を集めた冊子「潮見ものがたり」を作成しました。

また、潮見小学校第7代校長が作成した「潮見八景」の制作100年を記念した冊子も作成しました。

◎かかし人形プロジェクト

かかし人形を広めるため、愛媛マラソンの応援や敬老会にかかしたちも参加し、イベントの盛り上げに一役買っています。

また、かかし住民台帳も作成し、現在59人（体）を登録しています。



八坂地区まちづくり協議会

面積：0.57km²
 人口：5,166人
 世帯数：3,184世帯
 ※R2.3.1現在

八坂地区は、自然あふれる石手川緑地沿いの東西に長い地区です。地区の名称「八坂」の由来になった八坂神社や歴史ある井出神社などの史跡があります。

江戸時代には中の川周辺に町屋が並び、美しい川にはホタルや魚の姿がありました。現在は、広々とした道の一部に残る枝垂れ柳などが当時の風情を残しています。



地区の見どころ



◎石手川緑地

春には桜が満開となり、多くの花見客が訪れます。公園も整備されており、老若男女問わず楽しめる憩いの場として、地区内外から親しまれています。



◎ホタルの里

八坂公民館ホタルボランティア部が中心となり、草刈りや幼虫の放流などが実施されています。また、5月下旬には鑑賞会が開催されており、多くの親子連れで賑わっています。



【石手川の桜並木】



【ホタル観賞会】

活動内容の一例

◎ふれあいカフェ in 西法寺

毎週木曜日にお寺でカフェをオープンしています。参加者は、コーヒーなどを飲みながら、折り紙や脳トレを楽しんでいます。月初にはランチ会、月末には手芸クラブも併せて開催するとともに、毎冬の恒例行事として雅楽の演奏会なども行っています。



◎コミュニティ講座八坂

地域の「宝」を発掘し、後世に残していくために、毎年開催しています。これまでに、地域ゆかりの偉人（柳原極堂、西村清雄）や、寺社（皇祖多賀神社、西法寺）の歴史などについて学びました。



🍌地域応援まちづくり講座を開催しました🍌

松山市では、住民主体のまちづくりを進めるため、今年度初めてとなる「地域応援まちづくり講座」(全2回)を開催しました。今回は「食育」をテーマとし、受講者の方には様々な視点から地域でのまちづくりについて考えていただきました。

1回目は愛媛大学准教授の垣原登志子氏を講師に迎え、地域ごとに異なる日本の食文化についてご講義いただきました。2回目は愛媛県栄養士会副会長の山本多津氏を講師に迎え、保育所での食育活動や日本の旬の食べ物などについてご講義いただきました。

食育に携わっている受講者の方も、初めて聞いた内容があったようで、時折会場からは「なるほど」「こういう意味があったのか」などの声が聞こえました。



地域によって甘味や塩気などの好みが変わるそうです。

人工と天然の果汁の試飲では、皆さん真剣に飲み比べていました。



クリーンアップ功労者表彰式



2月13日(木)にまちづくり協議会をはじめ、地域で積極的に一般廃棄物の適正な排出や減量に取り組まれている方々を「ごみステーションクリーンアップ功労者」として松山市清掃課が表彰しました。

表彰後には、石井地区まちづくり協議会にごみ減量の先進的な取組を発表していただきました。

受賞された皆様の長年のご功労に感謝申し上げますとともに、心からお祝い申し上げます。



環境にやさしい活動に取り組んでいただき、ありがとうございます！

石井まち協の事例発表の資料には、石井まち協イメーシキカラクター「いっくん・しいちゃん」も登場しました。

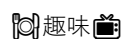
第28回 まちづくりで輝く人

地域で活躍している人を紹介します

新玉地区まちづくり協議会

事務局長

栗田 裕子さん



主任児童委員をしています。友人とランチをしたり、サスペンスドラマを観たりすることが趣味です。

今回の表紙を飾った「防災福祉マップ」の作成でも活躍されている栗田裕子さんを紹介します。

【新玉地区はどのようなところですか?】

松山市の陸の玄関口JR松山駅を中心とし、西側は住宅地、東側は商業地域として発展してきた地区です。地区内にはスーパーや飲食店が多くあるほか、図書館や公園などの学びや遊びの場所も充実しており、幅広い世代が暮らしやすい環境が整っています。

【まち協でどのような活動に取り組まれていますか?】

公民館と共催で事業を行い、自治連合会、自主防災会など様々な組織と連携して活動しています。そのため、幅広い世代の参加があり、特に女性の参加が多いのが自慢です。広報誌「きんもくせい」には、行事の報告を写真付きで報告しています。

【まち協で活動して良かったことを教えてください。】

今回「防災福祉マップ」の作成に携わったことで、新玉は多くの方の協力を得られる素晴らしい地区だと実感しました。各町内会長さんは町内を回って調査に協力していただき、地元企業には有事の際の協力体制を了承いただき感謝しています。

【今後の目標や抱負を教えてください。】

いろいろな行事を行い、地区の人が集まる場を提供し、地区内の人が顔見知りになってもらうことで「笑顔あふれる新玉」「災害に強い新玉」を目指すまちづくりのお手伝いをしていきたいです。